

2009  
4月  
No.593

🌟 広報 TAKANEZAWA

# たかねざわ

～まちづくりの合言葉 「手間 暇 かけて」～



## 巣立ちの春 —656人の児童生徒が卒業— (写真は北小学校卒業式より)

### 4月号の主な内容

表紙	①	休日夜間子ども診療室、スクールガード募集	①
—特集—交流の窓から見えるもの	②	知っ得なっ得コーナー	⑬
定額給付金・子育て応援特別手当	⑦	たかねざわ散歩道	⑳
たかねざわまちあるもの探し事業	⑧	地域情報局、養生のススメ	㉑
町農業委員選挙、		まなびのひろば	㉒
家電リサイクル法の対象機器追加	⑨	歴史民俗資料館	㉔
家族みんなで広げよう		スポーツ、文芸コーナー	㉕
町ぐるみハートごはん	⑩	保健センターだより、楽しい朝ごはんメニュー	㉖
公共下水道の区域拡大	⑭	夢だより風だより	㉗
元気はつらつ運動教室参加者募集、愛の基金	⑯	はっぴーばーすでい、あかえんぴつ	㉘



# ―特集― 交流の窓から見えるもの



2008年12月現在、栃木県内に登録されている外国人の数は、前年に比べ959人増え、35,159人となり、過去最高を更新しました。

県人口に占める割合は、1.75%。国籍別にみると、中国、ブラジル、ペルの順で多く、この3カ国で全体の約6割を占めます。

高根沢町においては、2009年3月1日現在、外国人登録している方は312人で、町人口の1.01%を占めます。およそ、100人に1人が外国籍の町民であるといえます。

私たちと同じ高根沢町に住み、生活をともにする隣人たちのこと、皆さんはどのくらい知っていますか？

今回紹介する4人の方に共通することは、高根沢町国際交流協会の「日本語講座」の受講生、あるいは修了生であること。そして、日々、前向きにがんばって生活している姿があります。

異国の地で暮らす、彼らの生活や思いを、私たちの過ごす日常と重ね合わせて読んでください。



## シルクロードの街から日本へ

「かしこまりました」。

突然の取材依頼にも、きれいな日本語で、ていねいに応対してくれた。日本の印象を、「環境が良く、お店の店員のサービスがとても良い」と語るのは、日本語講座受講生の1人、カリビヌリ・ウメリさん。

毎週欠かさず日本語講座に参加し、日本語能力試験2級合格を目指して、日々勉強に励んでいる。

初めて試験に挑戦したのは昨年12月。結果は、「落ちてしまいました」。

残念そうに答える。カリビヌリさんが生まれ育ったのは、中国西端に位置する新疆ウイグル自治区のウルムチ市。シルクロードの要塞として栄えた街で、南には天山山脈、その南にはタクラマカン砂漠が延々と広がる。

2002年に来日し、現在、町内

の会社に勤める夫のトルソンさんも同郷の出身。日本の生活に慣れない彼女の一番の相談者であり理解者である。

## ずっと探し続けていた場所

2006年5月に結婚し、2人の生活を始めるため、同年11月にカリビヌリさんが来日した。

トルソンさんの転勤で1年半の間に、茨城県、静岡県、小山市、宮城県と引っ越しを繰り返して、昨年6月に高根沢町に移り住んだ。

「日本人と接することがないと、言葉が上達しない」。現在は、宇都宮市内の飲食店でアルバイトをしている。

日本語は、故郷の大学で少し勉強しただけ。日本で暮らしていくために勉強したかった。引っ越しのたび、自ら勉強できる場所を探したが、なかなか見つからなかった。

高根沢町でようやくその場所を見つけることができた。

## 試験合格、その先にあるもの

「先生たちのおかげで、日本語の会話ができるようになった。先生たちの優しさに出会えたことも本当に嬉しい」と喜びを語る。

日本語の勉強以外にも、「日常生活で困っていること」や「仕事で使う言葉が正しいか」など、たくさんのお話を先生たちから教わっている。今では、話を聞くことは大丈夫。

ただし、カタカナや中国語と読み方の違う漢字は聞き取りが難しく、自宅でテレビを見ている時でも、わからない言葉があると辞書を手に取る。カリビヌリさんには目標がある。

日本語能力試験合格は、その目標を実現するための手段であり、そのための第一歩。

「2級試験に合格し、1級試験に合格して、日本の大学の工学部を受験し、そこで機械に関する勉強をしたい。そして、故郷に戻ったら学んだことを生かせる仕事に就きたい」と目標をしっかりと語る。

また、「故郷の若い人たちに、日本語を教えたい」という夢もある。



## 日本の生活や文化も知りたい

宗教上の理由から、豚肉など口できないものがある。

自分たちの文化が他国とどう違うのか知りたい。だから、日本人の友達をつくって、日本人の生活や文化について教えてほしいという。

「困っていることはありませんか?」の問いかけに「今のところないです。いや、日本語がペラペラになりました」と笑顔で答える。

「一度、故郷に戻ってみたいが、試験に合格するまでは戻らない」。カリビヌリさんの強い意志が伝わってきた。

## PART2. 鈴木リユーさん



## 温かく迎え入れてくれた

屈託のない笑顔がトレードマークの鈴木リユーさんは、ベトナム出身で、来日して10年になる。

現在、夫の伸一さんと2人のお子さんと上柏崎に住んでいる。

来日前は、ホーチミン市内で、日本人客の多いレストランでアルバイトをしていた。海外赴任のため、市内で働いていた伸一さんと出会ったのもこの頃。

伸一さんの赴任期間が終わり帰国した1999年、一緒にリユーさんも来日し、2人は結婚する。

「言葉はよくわからない、友達ができるのか、仕事はどうするのか、

故郷から遠く離れ、知り合いもいない場所です。生活する不安は大きかった」と当時を振り返る。

しかし、その不安が解消されるのに、さほど時間はかからなかった。

伸一さんの理解と協力はとても大きくて、頼りになった。そして、地域の人々は、リユースさんを温かく迎え入れてくれた。心強かった。

「地域の人たちと、良いお付き合いをさせてもらっています」。

散歩に出ると、近所の人といろいろな話をして、抱えきれないほどたくさん野菜をもらって帰ってくることもあるという。

## 毎週楽しみだった日本語講座

日本語講座の存在を知ったのは、来日して間もなく、健康診断で阿久津医院（大谷）を訪れた時だった。

当時、町国際交流協会の会長を務めていた阿久津正美先生（現協会顧問）は、リユースさんに、日本語講座があることを教えてくれた。

初めは、夜の部に参加する。運転免許のないリユースさんのため、伸一さんは毎週、送り迎えをした。

運転免許を取得すると、子どもを連れて昼の部へ参加する。

当時、昼の部には10人ほどの受講生がいた。悩みを相談したり、互いの国のことや日本のことを話したりできる友達ができた。

また、日本の習慣などさまざまなことを先生たちから教わり、毎週、

日本語講座へ行くのが楽しみだった。昼と夜合わせて、5年間通った。



## 人とふれあうことが好き

講座を修了したリユースさんに、新たなチャレンジの芽が生まれる。

近所に、老人福祉施設が建設されたことがきっかけで、「ホームヘルパー12級」の資格を取ることを決意。

理由は、「地域のおじいちゃん、おばあちゃんとお付き合いしていくうちに、お年寄りのためになる仕事になりたいと思うようになった」から。

土日を利用して、近所の友達と宇都宮市内へ勉強に通った。

いつの間にか、伸一さんも参考書を頼りに独学で勉強を始め、結局、一緒に試験に挑戦することになった。勉強の末、夫婦揃って見事合格。資格を得たリユースさんは、その施設で1年半働いた。

現在は、「元気あつぷむら」に勤務し、館内の温泉カウンターや売店に立ち、来館者を笑顔で迎える。この仕事を始めて6月で満2年になる。

「仕事は楽しい。人とふれあうことが好きだから」。

## 不安とこれからの夢

2人の子をもつ母親として、「子どもの教育や医療、福祉に関すること」がわからないのが不安」と話す。

今は、仕事や育児で忙しく、なかなか自分の時間はないが、「読めない漢字もあるし、もっと勉強して、日本語を覚えたい」。また、「将来は、ベトナムの店も出してみたいな」。少し照れくさそうに話してくれた。家族と地域の愛に支えられながら、リユースさんのチャレンジは続く。

## PART 3. カザイ・スマイルさん



## 高根沢町が大好き

「私も妻も、高根沢町が大好き。みんな親切で、日本人同様に接してくれる」と、イラン人のカザイ・スマイルさんはこやかに話す。

スマイルさんは、1993年に日本語講座が開講して間もなく、受講

するようになった草創期のメンバーの1人。

宝積寺に住み、現在は、町内の建設会社に勤務する。

タイ人で、妻のボクシャットさんは、宝積寺でタイ式マッサージ店を経営している。タイのメディカルスクールで、古式マッサージを学び、20年のキャリアをもつという。

スマイルさんが来日したのは、1990年12月。目的は、出稼ぎのためだった。

同郷の友達から、「日本は良い国。給料はイランの5〜6倍稼げる」という話を聞いて、日本に来ることを決意する。

来日後は、清原工業団地にある会社に勤めたが、1997年から現在の会社で働き始める。

2003年に車両系建設機械の運転技能講習を修了。翌年には、高所作業車運転技能講習も修了し、それらの資格を仕事に生かしている。

## 先生たちを忘れたことはない

「漢字を書きたい」。それが日本語講座を受講するきっかけだった。

ドイツ人女性が漢字を書いている姿を偶然目にし、日本にいるのに漢字が書けないのは残念だと思った。

最初に教えてもらった漢字は「雨」。「たぶん、雨が降っていたからかな」と笑って話す。

5年ほど日本語講座で勉強したことで、漢字は500〜600字書けるよ

うになり、会話は、文法の整ったきれいな日本語を話せるまでになった。

日本語講座の思い出を尋ねると、スマイルさんの口から感謝の言葉があふれ出る。

先生たちは、みんなとても優しい人ばかりだった。勉強以外にも、日本の国、文化を教えてもらったり、生活の中でも助けてもらったりしたことは数え切れない。

「もし、困ったことがあったら、言ってくださいね。相談にのるから大丈夫だよ」とかけてくれたこの言葉は、一生忘れない。

「先生たちが大好き。先生たちのことは、一秒たりとも忘れたことはない。いつも心に思っているよ」。



## 外国人、日本人の区別はない

スマイルさんには、日本人の友達が多い。

近所の人たちとは、時々、2〜3家族が集まって、飲んだり食べたりして、楽しく時間を過ごす。

そして、「外国に住んでいるという気持ちは無い。私たちから見たら、日本人も外国人。でも、区別する気持ちは全くない」と言い切る。

イラン人は、両親を非常に大切に

し、家族や友達の絆は強い。それは、日本人と良く似ているという。

「親を大切にするのは当たり前。近所の人と仲良くするのは当たり前。人に会えば、自分からあいさつをするのも当たり前」。スマイルさん自身、散歩の時間など見知らぬ人でも、あいさつすることを心がけている。

高根沢町に住んでいて、不安はない。この先もずっと良い町であって欲しいと願っている。

「スーパー、役場、どこへ行っても親切にしてくれる。日本で高根沢町が一番。生活は楽ではないが、他の町に住んでいたら生活できなかったかもしれない」と話してくれた。「高根沢町に自分の家を持ちたい」。それが、スマイルさんの夢。

## PART 4. 本多辰子エリザさん



## 漢字がわからないと生活は大変

「外国人も、知らない人に声をか

ける勇氣はない。日本人同様に、最初はあいさつや声かけていくことが、お付き合いしていくうえで大切」。

そう話すのは、財団法人栃木県国際交流協会に勤務する本多辰子エリザさん。ポルトガル語の担当として、外国人の相談にあたっている。

エリザさんは、ブラジル出身の日系2世。1992年に来日し、1994年に結婚。那須烏山市在住であるが、1995年から10年間、日本語講座で学んだ修士生の1人。

ブラジルでは、日本語学校にも通っていた。大学院時代は、心理学の勉強で日本へ留学した経験もある。

エリザさん自身は、「言葉の壁」はそれほど問題にはならなかったが、漢字がわからない外国人にとっては、日本での生活は非常に大変という。

## 日本語講座で学んだおかげ

「今の仕事ができるのは、日本語講座のおかげ」と、はっきり答える。ここでは、受講生同士が、友達として、互いに悩みを話し合える関係もつくることができた。

先生たちは、勉強だけでなく、日本の習慣や家族との付き合い、子どもの教育など、悩みを聞いてくれたり、アドバイスしてくれたりもした。

「子どもを連れてきてもいいよ。幼い子どもがいたエリザさんに、先生たちは言ってくれた。

子連れで勉強し、休憩時間にミルクを飲ませたのも、今では懐かしい

思い出だ。

県国際交流協会の相談員として5年になるエリザさんに、県内で暮らす外国人（主にブラジル人）の相談の現状などについて話を聞いた

## 複雑多岐にわたる相談

2008年度（4月から1月まで）、協会へ寄せられた相談の総件数は、1,728件。月平均200件。

その相談は、届いた通知文の内容がわからないといった簡単な問合せから、対応のできない深刻な相談まで、さまざま。

その中でも、多いのは雇用問題。「百年に一度」と言われる世界的な不況の波が押し寄せた12月から1月にかけて、相談者が急増した。

「職を解雇され、ホームレスになつてしまった」という相談もあった。ビザや在留に関する事、結婚や離婚に関する相談も多い。

相談員としての仕事は、手続きに必要な書類や手続きの場所・方法を教えたり、弁護士や通訳の紹介を行ったりするなど、多岐にわたる。相談だけではない。臨床心理士の資格をもつ彼女は、時に、心理カウンセリングも行う。

## 親子関係にも危機が

近年、親子の関係にも問題が生じているという。

日本で生まれ育った子どもは、日本の習慣が身に付いてしまっている。仕事が忙しい親と過ごすより、学校で過ごす時間の方が多く、日本語を覚えられない親とのコミュニケーションができてなくなっている。

彼らが、もし、ブラジルへ帰国することになれば、逆に、子どもたちがブラジルの言葉や文化、習慣についていけなくなる。

そのような問題を解消するため、清原地区を中心に活動し、エリザさんも所属する「うつのみやラチーノス」では、親子が上手にコミュニケーションを図れるよう「ポルトガル語講座」を開催し、ブラジルの言葉や文化、習慣を学ぶ機会を提供している。

また、途中で来日し、日本語の話せない子どもたちのために、地区の小中学校の教師もボランティアとして、日本語を教えに来てくれるのは心強いという。

さまざまな問題に直面しながらも、困っている仲間たちのため、エリザさんが公私にわたる支援の手を休めることはない。



### 受講生たちの頑張りに応えたい

#### 日本語講座・ボランティア講師 齋藤 兆司さん

現在、8人の講師がボランティアとして指導にあたっています。

この日本語講座の特徴は、個別指導であるところです。会話を重視する人、読み書きを重視する人、日本語能力試験合格を目指す人など、それぞれの受講生の要望に合わせて勉強を進めます。

講師たちにとっても、年間を通して日本語講座に参加するのは大変です。しかし、仕事帰りに、夕食もとらずに来る受講生も多くいます。また、雨の日、厳しい寒さの日にも休まず勉強に来る。そんな彼らの頑張っている姿を見ると、「少しでも役に立ちたい」という思いが強くなります。彼らの努力に応える意味でも、できる限りボランティアを続けていきたいと思っています。

ボランティア講師は、以前に比べて人数が減っており、年々高齢化しているのが現状です。外国人も日本人も同じ仲間として、より良い関係を築いていくためにも、多くの皆さんの協力を得られたいと思います。



3月17日(火) 21:00  
宝積寺タウンセンター

年間30回を数えた、  
今年度の日本語講座が終了した



### 共に活躍できる地域づくりへ

高根沢町に外国人登録する312人という数字。このように、町内にはたくさんの方々が生活しています。その一人ひとりが30,757分の1の高根沢町民です。

国が異なれば、言葉や文化、生活習慣などは当然大きく違ってきます。そのため、誤解や思い込み、偏見を生じてしまうことがあるかもしれません。日本人同士、昔からの近所同士でも、時に、ささいな誤解から、付き合いに支障をきたすことだってあるのですから。

だからこそ、互いに違いを認め合い、理解を深めていく努力が必要になります。

同じ町に住み、私たちとともに日常を暮らす彼らの喜びや苦しみ、希望や不安は、同時に私たちのものでもあるのだと思います。そして、それらを共感し合えることが、「共に生きていく」ということなのではないでしょうか。

家族、友達、地域、人はみんな支え合いながら日々の生活を営んでいます。外国人も日本人も、地域を構成する一員として、共に支え合いながら、活躍できる地域づくりはできるということを、日本語講座の中での小さな交流は、私たちに教えてくれているような気がします。

日本語講座を主催する高根沢町国際交流協会では、随時会員を募集しています。今月号23ページ「まなびのひろば」をご覧ください。

# 定額給付金・子育て応援特別手当の申請受け付けをはじめました

◆定額給付金・子育て応援特別手当については、4月1日に、給付対象者に申請書を発送し、同日付けで申請書の受け付けを開始しました。

配達の場合でまだ申請書が届いていない方につきましては、大変ご迷惑をおかけしますが、4月下旬までには全ての給付対象者に申請書が届く予定ですので、もうしばらくお待ちください。

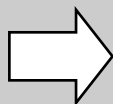
なお、申請書は、なりすまし、詐欺などの不正を防止するため、**簡易書留郵便で送付しています**。ご自宅のポストに「不在届連絡表」が入っていた場合は、再配達を依頼するか郵便局に取りに行くようお願いいたします。

◆定額給付金・子育て応援特別手当を受給するには、申請書の提出が必要です。

提出方法は**郵送（返信用封筒）での返信を原則**としますが、以下の2通りとなります。

## <郵送で申請する場合 ※原則この方法での申請をお願いします>

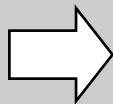
- ★申請書に必要事項を記入してください。
- ★添付書類（本人確認書類、通帳の写し）を準備してください。



- ★返信用封筒に、申請書、添付書類を入れてポストに投函してください。（切手は不要です）

## <窓口で申請する場合>

- ★申請書に必要事項を記入してください。
- ★添付書類（本人確認書類、通帳の写し）を準備してください。



- ★申請書、添付書類を町役場へ持参してください。

### 【定額給付金・子育て応援特別手当受付専用窓口】

- 町役場 第3庁舎1階 大会議室  
平日（月曜～金曜） 9時～16時

※日曜の受け付けは、次の日のみです。

- ①4/19（日） 9時～16時
- ②4/26（日） 9時～16時

### ★注意

- ・申請は口座振込が原則です。（その場での現金給付は出来ませんので、ご理解をお願いします）

◆口座への振り込みは、4月下旬から順次開始します。

申請書を受け付け次第、申請（受給）者に、交付決定および振込予定日の手紙を差し上げます。

## ◆問合せ先

定額給付金	子育て応援特別手当
町総務課 行政経営担当 ☎ 675-9120 FAX675-2409 Eメール keiei@town.takanezawa.tochigi.jp	町子どもみらい課 児童福祉担当 ☎ 675-6466 FAX675-6820 Eメール kodomo@town.takanezawa.tochigi.jp

# 平成21年度「たかねざわまちあるもの探し」事業を公募します



## 事業の概要

### ■ 趣旨

◆潜在している町の資源(魅力)を新たに掘り起こし、町の活性化に繋げていくために、町民の皆さんが自らの発意と行動に基づいて行う自主的な活動に対して、町が側面的なサポート(事業費補助)を行う事業です。

### ■ 事業の審査(認定委員会)

◆申請された事業の適否は、「たかねざわまちあるもの探し」認定委員会において、基準に基づき審査されます。  
◆認定委員への事業の説明は、申請団体によるプレゼンテーションとなります。  
◆事業認定にかかわる最終審査は、基準に基づく採点方式となります。

### ■ 補助期間

◆将来的に自立して、自主財源などにより事業を行うようになるまでの準備期間への支援と位置づけ、補助は原則**単年度**とします。

### ■ 事業の要件(実施主体)

- ◆以下の要件を全て満たす**団体**とします。
  - (1)町内に活動場所を有する団体であること。
  - (2)5人以上の構成員で組織していること。
  - (3)組織の運営に関する規則(規約、会則など)があること。
  - (4)予算、決算を適正に行っていること。

### ■ 事業の要件(事業内容)

- ◆以下の要件にあてはまる事業とします。
  - (1)公益性(受益が不特定多数の町民に広く及ぶもの)
  - (2)効果性(町の活性化に繋げるためのソフト事業であること)
  - (3)適格性(自立の傾向が明白で、将来計画があること)
  - (4)その他要綱に定める要件

### ■ 補助対象経費

◆事業に要する**直接的な経費**とし、**補助率は1/2**とします。

## 平成21年度「たかねざわまちあるもの探し」事業年間スケジュール

4月	・第1期事業認定申請受け付け ・事業事前審査
5月	・第1回認定委員会(※下旬予定)
6月	・第1期認定事業交付決定
7月	・第2期事業認定申請受け付け(※H21年度事業公募締め切り) ・事業事前審査
8月	・第2回認定委員会(※下旬予定)
9月	・第2期認定事業交付決定

## 事業の申請



- 第1期の申請受け付け期間は、**4月6日(月)～4月30日(木)**です。
- 認定申請書、その他の添付書類を作成のうえ、担当宛て申請してください。
- 添付書類の内容(見積書など)は直接ご案内しますので、事業の計画がありましたら、まずはお気軽に担当までご相談ください。
- 認定申請書、事業計画書の様式は、町ホームページからもダウンロードできます。
- その他ご不明な点などございましたら、担当までお問合せください。

## 事業の認定委員を募集しています



- 募集内容 申請のあった事業の認定審査をしていただける方(事業実施期間：平成21年度・22年度)(認定委員会は年2回<5月・8月>を予定)
- 応募条件 満20歳以上の高根沢町民の方(国会議員、地方公共団体の議会議員でない方)
- 募集人数 5人(応募多数の場合は抽選になります)
- 応募締切 **4月15日(水)**まで
- 応募方法 住所・氏名・年齢・連絡先を電話・FAXまたはEメールで担当までご連絡ください。

申込み・  
問合せ先

町総務課 行政経営担当 ☎675-8135 ☎675-2409  
Eメール [keiei@town.takanezawa.tochigi.jp](mailto:keiei@town.takanezawa.tochigi.jp)  
「たかねざわまちあるもの探し」事業に関するホームページアドレス  
<http://www.town.takanezawa.tochigi.jp/townadmi/thereis/index.html>



# 町農業委員会委員選挙は

## 4月14日(火)告示 4月19日(日)投票です

※立候補者が定数17人を超えない場合には、投票を行いません。(防災無線・町ホームページでお知らせします)

### 1. 立候補できる人(被選挙権)

農業委員会委員に立候補できる人は、次の要件を全て満たしている人です。

- ① 高根沢町に住所を有すること
- ② 年齢が満20歳以上であること
- ③ 10アール以上の農地につき耕作の業務を営む人か、その同居の親族または配偶者で、過去1年間の耕作日数がおおむね60日以上である人か、10アール以上の農地につき耕作の業務を営む農業生産法人の組合員・社員または株主で、過去1年間の耕作日数がおおむね60日以上である人

※ただし、次の事柄に該当する人は立候補できません。

- 成年被後見人や禁錮刑以上の刑に処せられた人などの欠格者
- 公務員などの立候補制限者
- 固定資産評価審査委員や教育委員などの兼職禁止者

### 2. 投票できる人(選挙権)

農業委員会委員選挙において投票できる人は、「立候補できる人」の要件①②③を満たし、3月31日確定の選挙人名簿に登録されている人です。(欠格者は除かれます)

### 3. 投票時間

7時～20時

### 4. 投票所入場券(ハガキ)

告示日に郵便にて発送しますので、投票所に持参してください。もし、届かない場合には、町選挙管理委員会に確認をしてください。また、投票所入場券を紛失したり、忘れたりしてしまった場合には、投票所で係員にその旨を伝えてください。

### 5. 代理投票・点字投票

代理投票は、本人がケガや障がいなどの心身の故障や文盲などの理由で、ご自身で投票用紙に記載できない選挙人のための制度です。投票管理者に申請すると、補助者2人が決められ、その1人が選挙人の指示に従って投票用紙に記載し、もう1人が指示どおりかどうか確認します。

また、投票所には点字投票用の用紙と、簡単な点字器を用意していますので、点字での投票もできます。

### 6. 期日前投票・不在者投票

投票日当日、仕事や旅行などの都合で投票所へ行くことができない方は、期日前投票ができます。

### ◆期間

4月15日(水)～18日(土)

8時30分～20時

### ◆場所

町役場 第1庁舎1階応接室(東側)

※投票所入場券が届いた方は持参してください。投票所入場券が届く前であっても、投票所で選挙人名簿に登録されていることが確認できれば投票できます。

※県選挙管理委員会が指定した病院などの施設に入院しているなどの理由で投票に行けない方は、その施設で不在者投票ができます。病院長や施設長に早めに申し出てください。

### ◆問合せ先 町選挙管理委員会

☎675-8115



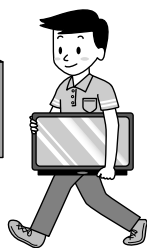
## 家電リサイクル法の対象機器が追加されました

家電リサイクル法の改正により、4月1日から、液晶テレビ・プラズマテレビ、衣類乾燥機が新たに家電リサイクル法の対象機器に加われました。

これまでの家電4品目(ブラウン管テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機)に加えて、液晶テレビ・プラズマテレビ、衣類乾燥機もメーカーによって回収・リサイクルされます。

これらの製品を廃棄する際には、これまでの家電4品目と同様に小売店に依頼するか、指定引取り場所へ直接搬入してください。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

◆問合せ先 町環境課 ☎675-8109



# 「高根沢町食育、地産地消推進行動計画」の概要

## 家族みんなで広げよう、町ぐるみハートごはん

～ たくさん食べよう地元の食材 ～

◆問合せ先 町保健センター ☎675-4559

町では、平成19年9月に「高根沢町ハートごはん条例」を制定しました。そして、この条例の考え方を実践していくために、「高根沢町食育、地産地消推進行動計画」を策定しました。

計画では、町民の皆さんにわかりやすく、日々の暮らしの中で「食育」と「地産地消」に取り組めるように5つの行動目標を定めるとともに、家庭、学校、地域、生産者、商工業者などの各主体や年齢に応じた具体的な取り組みも設定しています。

食育、地産地消運動は町民一人ひとりが主役です。町民の皆さんが、自分たちの取り組みとしてとらえることが大切であり、それぞれの役割を実践してこそ目指す目標は達成できます。

計画の推進にあたっては、町民の皆さんに計画の趣旨をご理解いただき、関係団体とも連携して取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 推進行動計画事業一覧 ※ 網掛けはプロジェクト事業

	理念	◎目標 ◆主な事業	具体的な事業	指 標 (H25)
食	「食」で健康！	◎規則正しい食習慣を身に付けましょう ◆家族そろって朝ごはん作戦 (健・こ) ◆食に関する知識の普及事業費 (健) ◆生活習慣病予防事業 (健)	【健康福祉課】 ・栄養教室 (親子料理教室、母親学級、離乳食教室、遊びの教室) ・健康教育 (乳幼児健診時、健診結果説明会) ・出前講座 (各種団体へ栄養教室、料理講習) ・簡単朝ごはんレシピの紹介 (簡単朝ごはんレシピ集への追加作成) ・家族そろって朝ごはんの啓発 (保育園でのキャンペーンを年1回) 【こどもみらい課】 ・保育園での集団栄養指導 (幼児栄養教室) ・小中学校単位での「食に関する指導の全体計画」の実践 (教科指導、総合的な学習、集団栄養指導ならびに個別指導など)	☆自分が健康だと思う人 (H19) 81.3% → 90.0% ☆家族で朝食を食べる (H19) 62.4% → 80.0%
	「食」を感じる！	◎自然の恩恵に感謝する心を育みましょう ◆生産者の素顔に迫ろう作戦 (こ・産) ◆みんなでつくってみよう作戦 (生・健) ◆体験農場事業 (こ) ◆青少年対象・体験活動支援事業費 (生)	【こどもみらい課】 ・各小中学校での生産者との給食交流会 (年2回) ・学校体験農場での農産物栽培・収穫体験 ・保育園での農作物栽培・収穫体験 ・小中学校単位での「食に関する指導の全体計画」の実践 [再掲] 【生涯学習課】 ・農産物の栽培、収穫、料理体験 (親子どろんこ道場) 【産業課】 ・町民農園の設置 [再掲] ・農家巡りツアー [再掲]	☆野菜好きを増やす (H19) 39.6% → 45.0%
	「食」を知る！	◎郷土料理や伝統料理を学び伝えましょう	【健康福祉課】 ・栄養教室 (親子料理教室) [再掲] 【こどもみらい課】 ・学校における郷土料理などの紹介 (給食・総合的な学習) ・保育園での地域交流会	☆学校給食の残菜量 (H19) 12.6% → 7.0% ☆学校給食好きを増やす (H19) 43.6% → 60.0%
地産地消	「食・財」に感謝！	◎旬の食材を食卓にのせましょう ◆学校給食賄材購入事業 (こ) ◆流通体制推進事業費 (産)	【こどもみらい課】 ・学校給食に地元農産物を利用	☆学校給食の町内農産物利用 (H19) 43.7% → 50.0% ☆地元の食材を意識して食べている人 (H19) データなし → 60.0%
	「地元農産物」を知る！	◎生産者と消費者のコミュニケーションを深めましょう ◆農産物直売農家指定事業 (産) ◆びれっじセンター運営費 (産)	【産業課】 ・農家から消費者が直接農産物を購入 ・町民農園の設置 ・農家巡りツアー 【こどもみらい課】 ・各小中学校での生産者との給食交流会 (年2回) [再掲] 【生涯学習課】 ・農産物の栽培、収穫、料理体験 (親子どろんこ道場) [再掲]	☆「のうさん物直売屋」登録数 (H19) 32カ所 → 80カ所

# 「食育」と「地産地消」に取り組むための 5つの行動目標

## 1. 「食」で健康！

### 【行動目標】

◎規則正しい食習慣を身に付けましょう  
朝食を抜かず、1日3食を規則正しく食事をするよう、生活のリズムを身につけましょう。

### 【町の取り組み】

①規則正しい生活リズム啓発活動  
簡単に栄養バランスの取れた朝食献立情報などを提供して、早寝早起き、朝食をとるなど家庭における生活リズム改善のお手伝いをします。

②望ましい食習慣の啓発・普及

妊産婦・乳幼児を対象とした栄養教室を開催し、食習慣の大切さについて啓発を行います。



## 2. 「食」を感じる！

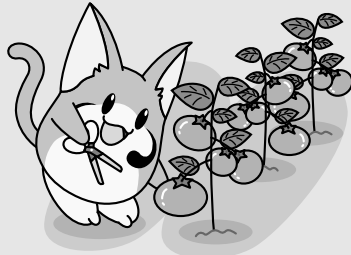
### 【行動目標】

◎自然の恩恵に感謝する心を育みましょう  
野菜を作ることや親子で料理を作ることを通して、自然の恵みである食物の生命を食べること、食にかかわる人々とその活動に対する感謝の心や理解を深めましょう。

### 【町の取り組み】

◎食への感謝と体験活動の実施

農業体験などを通じて、生産者への感謝の気持ちを育み、多くの動物や植物から命をもらって生きている人間の尊さを学ぶ体験活動を実施します。



## 3. 「食」を知る！

### 【行動目標】

◎郷土料理や伝統料理を学び伝えましょう  
郷土料理や季節の行事食などの食文化を、さまざまな世代間の交流を通じて学び、次の世代へ伝え、広げようにしましょう。

### 【町の取り組み】

①保育園などでの食育

こどもたちが、みんなで楽しく食べる体験や、畑作りの体験、健康教育などを通じて、食への関心を育み「食べる力」の基礎を培います。

②学校教育活動全体を通した食指導

給食の時間や総合的な学習の時間など学校教育全体を通して、望ましい食生活や食事マナーを教えるなど、計画的・体系的に食に関する指導を展開します。

③世代間交流

学校や保育園などのこどもたちと地域のおとなが、食を通じて交流できる機会を設け、郷土の食文化や伝統的な食習慣など、食に関する様々な知恵を伝え、広げていきます。



## 4. 「食財(地元農産物)」に感謝！

### 【行動目標】

◎旬の食材を食卓にのせましょう  
「地元の食べものはやっぱり美味しい」と実感できることや、地元でとれた旬の農産物を食べることが体に良いという「身土不二」の考え方を理解し、新鮮で安全、安心な農産物を身近な直売所やスーパーなどで購入し食卓に並べましょう。

### 【町の取り組み】

◎学校給食への地元農産物の安定供給体制の整備

学校給食の食材に、地元の生産者がつくった米や野菜などの利用率を上げ、計画的に供給できるよう体制づくりを実施します。



## 5. 「地元農産物」を知る！

### 【行動目標】

◎生産者と消費者のコミュニケーションを深めましょう  
地産地消は、生産者と消費者の「お互いの顔が見える」ことであり、食の安全、安心の基本です。生産者と消費者との交流の場に積極的に参加しましょう。

### 【町の取り組み】

①生産者と消費者の交流

農業など食の生産について関心を高め、理解を深めるため、生産農家と消費者とが直接交流できる場を提供します。

②地元農産物などの情報提供

様々なメディアを利用して、地元農産物の安全性や優れた点など、地元の食材の魅力を広く伝え、高根沢町の地産地消運動を進めます。



食育・地産地消  
運動は、みんなが主役



# みんなで広げよう みハートごはん

## ん食べよう地元の食材～

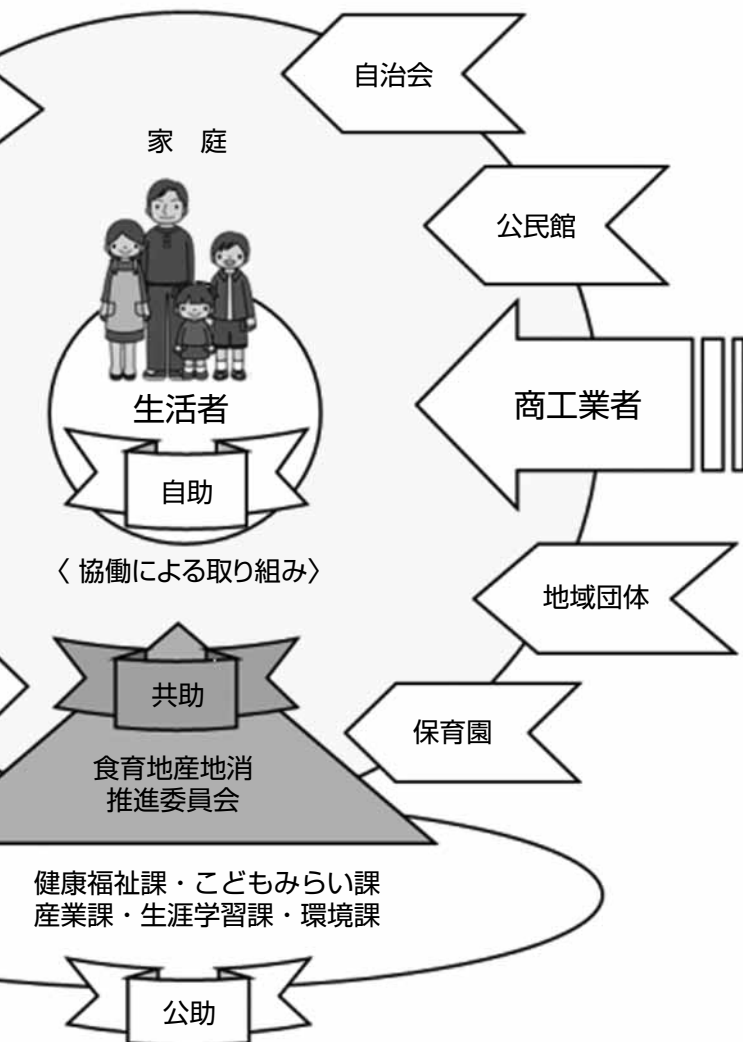
### 生涯を通じた支援

乳幼児から高齢者までの各年代を通じて、世代間の交流や体験を共有するなど、町民の皆さんの力を合わせた取り組みを進めます。

### こどもを中心とした食育

未来を担うこどもたちが、食の楽しさや大切さを実感できるよう、家庭を基点とした食育を進めます。

## 地域～さまざまな生活の場



## ○ 生活の場ごとの取り組み ○

### 1 家庭における取り組み

- ◆乳幼児期から様々な食品に親しみ、味覚（塩味・酸味・甘味・苦味・旨味）を育て、食事のリズムや食べものを粗末にしない、好き嫌いをしない、食事を味わって食べる、などの食習慣を身につけられるようにします。
- ◆日常生活の中でも、買い物や料理の手伝い、後片付けなどを通して、安全、安心な食材の選び方や調理法を学び、食事のマナー、地元の食材を生かした行事食、町内の基幹産業である農業や環境問題などへの理解も深められるようにします。
- ◆食事が健康づくりや病気の予防にとって大切なこと、規則的な食事をとるため、適度の運動や早寝・早起きを習慣化することを知り、より良い生活を心がけましょう。
- ◆休日には、農業体験や自然とのふれあい、町内農産物を用いた料理教室に参加するなど、様々な体験を通じて楽しみながら五感を磨き、家族で食育活動に取り組みましょう。

#### 【役割分担】

- ◎町 民：様々な分野における食の学習・体験活動に積極的に参加し、家庭でより良い食生活が実践できるよう努めます。
- ◎生産者：家庭に安心な食材を提供することに努めるとともに、積極的な情報提供を心がけます。

### 2 学校などにおける取り組み

- ◆本町の生活を支えてきた農業を最大限に生かし、学校給食の地元農産物のさらなる利用や、食材の旬や味覚などの学習を進めるとともに、農業体験などを通じて、生産から消費までの過程を学び、農作業の苦労や自然の恵みを体験させ、農作物を粗末にしない心と自然環境を大切にすることを育てていきます。
- ◆学校の学年行事やPTA行事などを通じて、親子が一緒に食に関する理解を深めることができる機会を企画し、家庭における食育活動との連携を強化します。
- ◆保育園・幼稚園などでは、こどもたちが、畑作り体験を通じて、土や新鮮な農作物に触れることで豊かな感性を磨き、みんなで楽しく食べる喜びや感謝の心を実感できるよう支援し、「食べる力」の基礎を培う活動を進めます。

#### 【役割分担】

- ◎町 民：学校などが実施する様々な分野における食の学習、体験活動に積極的に協力し、共に学ぼう努めます。
- ◎生産者：①学校給食に、新鮮で安全・安心な地元の食材を提供します。  
②学校などが取り組む体験学習などに積極的に参加協力し、情報の提供に努めます。

### 3 地域における取り組み

- ◆地域では、関係者がお互いに連携して、優れた地域資源と結びついた食に関する様々な体験ができる場を提供するとともに、地域住民間のふれあいと交流を図りながら、郷土への誇りと愛着を育てていきます。
- ◆地域の食文化の伝承のほか、生活習慣病の予防など、地域ぐるみで食と健康の学習をすることも重要です。
- ◆生産者や商工業者においては、地元の新鮮で、安全、安心な食材を消費者に提供することが最も重要ですが、食料の生産履歴や食の安全について積極的に情報を開示することも強く求められています。

#### 【役割分担】

- ◎町 民：地域で実施される様々な食の学習、体験活動に積極的に参画し、楽しく学び体験することで、日常生活の実践に繋がります。
- ◎生産者：①地域で取り組まれる、料理教室、農業体験などの学習活動や消費者との交流活動に積極的に参画し、協力します。  
②商工業者は、健康に配慮した食事メニューの提供や、地元農産物の積極的な利用により地産地消活動に努めます。

### (1) 乳幼児期 (0～5歳)

#### 【大切にしたいこと】

- 家庭では家族と、保育園・幼稚園では友達と一緒に食べる楽しさを味わい、マナーを身につける。
- 味覚がつけられる時期なので、様々な食べ物を食べ、味覚を育てる。
- 食事のリズムを身につける。
- 離乳食を通して、飲み込む力、かむ機能を育てる。
- 歯みがきの習慣を身につける。
- 箸を正しく使えるように練習する。
- 収穫体験などを通じて食べ物にふれる。

### (2) 児童生徒期 (6～18歳)

#### 【大切にしたいこと】

- 生活リズムと食生活の関係を理解し、「早寝早起朝ごはん」の習慣を身につける。
- 家庭では家族と一緒に、学校では友達と一緒に食べる楽しさを味わう。
- 成長に合わせた食事により基礎体力をつける。
- 食品の組み合わせなど栄養バランスの知識を身につける。
- 食事のマナーを学ぶ。
- 食品の産地、栄養、添加物などの表示について理解する。
- 家族の食事づくりや準備を手伝う。
- 高校生はできるだけ家庭で作った弁当をもって学校に行く。
- 農業体験などにより食べ物と自然を大切にすることを育てるとともに、地域の農業について学ぶ。
- 食べ残しを減らすなど、食と環境にかかわる取り組みを実践する。

### (3) 青年期 (19～24歳)

#### 【大切にしたいこと】

- 食を通じ、人間関係を広げる。
- 欠食や生活のリズムの乱れ、肥満や過度の痩身などを招かないよう、望ましい生活習慣や食習慣を身につける。
- 偏食により、栄養バランスを崩しやすいことから、栄養と生活習慣病の関係などを理解する。
- 米や魚などを中心としたバランスのよい日本型食生活に親しむ。
- 食品の産地、栄養、添加物などの表示について理解する。
- 家庭からの独立の時期であることから、併せて食についても自立する。
- 食料の生産から流通、食卓までの流れを理解する。
- 食べ残しを減らすなど、食と環境にかかわる取り組みを実践する。

### (4) 壮年期 (25～44歳)

#### 【大切にしたいこと】

- 家族や友人などとともに食事を楽しむ。
- 食と健康の関係を理解し、生活習慣病を予防する知識を身につける。
- 米や魚などを中心としたバランスのよい日本型食生活を実践する。
- 食品の産地、栄養、添加物などの表示について理解する。
- 地域で生産された農産物などの自然の恵みを知り、料理などに活用する。
- 家族などで農作業などの体験をして、地域の農業や食文化への理解を深める。
- 高根沢産の食材を家庭料理に取り入れる。
- 食べ残しを減らすなど、食と環境にかかわる取り組みを実践する。

### (5) 中年期 (45～64歳)

#### 【大切にしたいこと】

- 家族や友人などとともに楽しい雰囲気の中で食事をする。
- 生活習慣病予防を意識した食生活や運動を実践する。
- 米や魚などを中心としたバランスのよい日本型食生活を実践する。
- 食品の産地、栄養、添加物などの表示について理解する。
- 地域で生産された農産物などの自然の恵みを知り、料理などに活用する。
- 家庭菜園に取り組むなど食料の生産から流通、食卓までの流れを理解する。
- スローフードや郷土料理を楽しみ、次世代の人々に伝える。
- 高根沢産の食材を家庭料理に取り入れる。
- 食べ残しを減らすなど、食と環境にかかわる取り組みを実践する。

### (6) 高齢期 (65歳～)

#### 【大切にしたいこと】

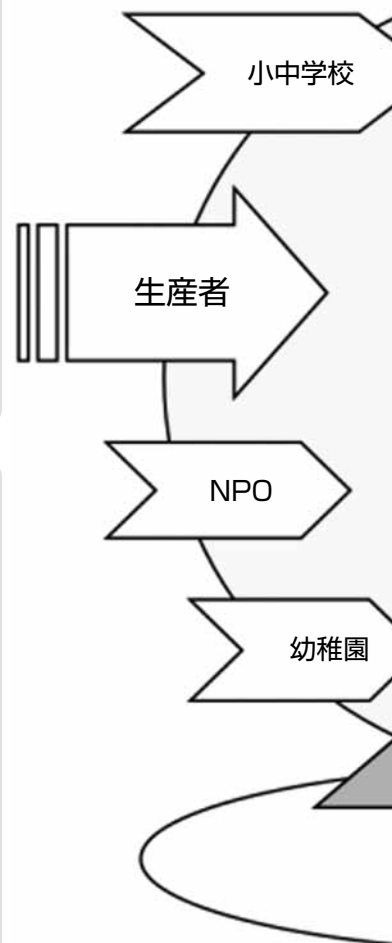
- 孤食傾向になりやすいので、家族や友達などとともに楽しい雰囲気の中で一緒に食事をするよう心がける。
- 介護予防のため、栄養改善で体力の維持向上に努める。
- 郷土料理などを次世代の人々に伝える。
- 米や魚などを中心としたバランスのよい日本型食生活を実践し、次世代の人々に伝える。
- 地域で生産された農産物などの自然の恵みを知り、料理などに活用する。
- 地域の農業に対する理解を深め、次世代の人々に伝える。

# 家族み 町ぐる

～たくさ

## 体験を主とした食育

食べる、つくる、育てるなどの体験や交流を通じて、食への関心を深め、人や土地への慈しみや感謝の心を育む食育を進めます。



# 宝積寺・仁井田地区の

## 公共下水道の区域が拡大しました

拡大（供用開始） 区域

◆宝積寺地区

宝積寺・石末（東町北区）

◆仁井田地区

平田（東高谷）

### 公共下水道への接続について

水質汚濁の主な原因は、一般家庭の台所・風呂・洗濯・水洗トイレなどの生活排水による汚れです。

生活排水を直接流さず、下水道に接続することで、住宅周辺の側溝や川がきれいになり、悪臭や蚊・ハエの発生を防止し、生活環境の改善および公共水域の水質改善に繋がります。

◆供用が開始されてから3年以内に、町の指定した「指定工事店」に接続工事を依頼してください。

下水道法により、公共下水道が完成し、供用（処理）開始区域になると、利用できるようになった日から3年以内に、公共下水道への接続が義務づけられていますので、計画的に接続工事をお願いします。

また、接続工事を行う「指定工事店」は、基準に合った設計見積をし、町の検査を受け、工事申請などの書類の作成、届出などの手続きを皆さんに代わって行います。

◆「水洗便所改造資金融資あっせん制度」をご活用ください。

公共下水道への接続促進および環境衛生の向上を図ることを目的とし、公共下水道が利用できるようになってから3年以内の区域にお住まいの方で、くみ取り便所または、みなし浄化槽（単独処理浄化槽）から公共下水道への接続工事を行うために必要な工事資金を申請者が融資機関から借り、その分の利子を町が負担するという制度です。（無利子の融資あっせん）

融資あっせん限度額は1件40万円。（ただし、アパートなどの工事は80万円を最高限度とする）  
融資あっせん額は、1万円単位。（融資金の償還方法は、毎月元金均等償還方法）

◆問合せ先

町上下水道課 ☎675-2449

### 浄化槽の普及促進について

浄化槽とは、合併処理浄化槽のことを指し、台所や風呂の生活雑排水をし尿とあわせて処理できるものです。

それ以外の、みなし浄化槽（単独処理浄化槽）や、くみ取り便所は、環境保全の観点から、望ましい施設とはいええず、平成12年の浄化槽法一部改正により、みなし浄化槽に関しては原則新設廃止、ならびに合併処理浄化槽への転換努力義務が規定されています。

現在、みなし浄化槽や、くみ取り便所をご使用の方は、計画的に切替工事をお願いします。

その際、「公共下水道事業認可区域および農業集落排水事業区域」を除いた地域にお住まいで、浄化槽を設置する方は、次の「浄化槽設置整備費補助金」をご活用ください。

### 【浄化槽設置整備費補助金】

#### 《補助金額》

人 槽	金 額
5人槽	332,000円
7人槽	414,000円
10人槽	548,000円



◆補助金を受けることのできる方

「公共下水道事業認可区域および農業集落排水事業区域」を除いた地域に、住宅を所有または新築を予定し、処理対象人員10人以下の浄化槽を設置しようとする方。

設置する場所は、専用住宅で主に居住を目的とした住宅（延床面積が総延床面積の2分の1未満の小規模店舗などを併設した併用住宅を含み、共同住宅・寄宿舎などを除く）です。

◆補助金の対象とならない方

○浄化槽法の規定による設置の届出の審査、または建築基準法の規定による確認を受けずに設置する方

○専用住宅を借りている方で、住宅の所有者、または賃貸人の承諾が得られない方

○販売および賃貸などの目的で住宅を建築しようとする方

○工事着手後（完了後）の補助金申請

◆問合せ先 町上下水道課 ☎675-2449

【全ての浄化槽をお使いの皆様へ】

浄化槽は、微生物の働きを利用して生活排水を処理する装置ですので、微生物が活躍しやすい環境を保つように維持管理を行うことが大切です。

特に、毎年1回の「法定検査（定期検査）」は、普段の保守点検や清掃が正しく実施されているかどうかを公正な視点で指定検査機関が確認する検査で、受検が義務付けられています。

「法定検査（定期検査）」の申込みは、保守点検を委託している業者、もしくは指定検査機関の（社）栃木県浄化槽協会にご相談ください。

◆問合せ先 指定検査機関

（社）栃木県浄化槽協会 ☎633-1650

# 元気はつらつ運動教室 参加者募集

～いつまでも元気ですぐすために、はじめませんか介護予防!!～

町では、高齢者などを対象とした運動教室を開催します。

寝たきりなど介護が必要な状態にならないようにするには、元気なうちからの予防が大切です。皆さん一緒に楽しく運動しましょう。

## ◆対象者

60歳以上の方

## ◆時間

10時～11時30分

## ◆持ち物

タオル、飲み物

## ◆その他

動きやすい服装でご参加ください。

## ◆申込みについて

各会場単位で、11回の教室が1つのコースになります。会場単位でお申込みください。1人で複数の会場に参加することもできます。開催日の1週間前までにお申込みください。

コースではなく、1回限りの参加もできます。

事前申込みは必要ありません。

## ◆申込み・問合せ先

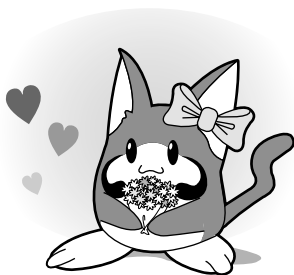
町健康福祉課

TEL 027-51-0105

## 会場および開催日

上高ふれあいセンター	福祉センター	宝積寺タウンセンター	図書館中央館	仁井田ふれあい広場	びれっじセンター(上太田公民館)
4/14(火) はつらつ運動	4/28(火) はつらつ運動	5/13(水) はつらつ運動	4/15(水) はつらつ運動	4/30(木) はつらつ運動	5/7(木) はつらつ運動
5/12(火) 認知症の話 +運動	5/26(火) 歯と口の話 +運動	6/17(水) 認知症の話 +運動	6/3(水) 歯と口の話 +運動	5/28(木) 認知症の話 +運動	6/4(木) 歯と口の話 +運動
6/9(火) 認知症の話 +運動	6/23(火) はつらつ運動	7/15(水) 認知症の話 +運動	7/1(水) はつらつ運動	6/25(木) 認知症の話 +運動	7/2(木) はつらつ運動
7/14(火) はつらつ運動	7/28(火) はつらつ運動	8/19(水) はつらつ運動	8/5(水) はつらつ運動	7/23(木) はつらつ運動	8/6(木) はつらつ運動
8/11(火) はつらつ運動	8/25(火) はつらつ運動	9/16(水) はつらつ運動	9/2(水) はつらつ運動	8/20(木) はつらつ運動	9/3(木) はつらつ運動
9/8(火) 栄養の話 +運動	9/29(火) 栄養の話 +運動	10/21(水) 栄養の話 +運動	10/7(水) 認知症の話 +運動	9/17(木) はつらつ運動	10/8(木) 認知症の話 +運動
10/13(火) はつらつ運動	10/27(火) はつらつ運動	11/18(水) はつらつ運動	11/4(水) 認知症の話 +運動	10/15(木) 歯と口の話 +運動	11/5(木) 認知症の話 +運動
11/10(火) はつらつ運動	11/24(火) はつらつ運動	12/16(水) はつらつ運動	12/2(水) はつらつ運動	11/19(木) はつらつ運動	12/3(木) はつらつ運動
12/8(火) はつらつ運動	12/22(火) はつらつ運動	1/20(水) はつらつ運動	1/6(水) はつらつ運動	12/17(木) はつらつ運動	1/7(木) はつらつ運動
1/12(火) 歯と口の話 +運動	1/26(火) 認知症の話 +運動	2/17(水) 歯と口の話 +運動	2/3(水) はつらつ運動	1/14(木) はつらつ運動	2/4(木) はつらつ運動
2/9(火) はつらつ運動	2/23(火) 認知症の話 +運動	3/17(水) はつらつ運動	3/3(水) 栄養の話 +運動	2/25(木) 栄養の話 +運動	3/4(木) 栄養の話 +運動

※毎回、開始前に血圧測定を行います。また、栄養の話では、おいしい試食も用意しています。



3月9日現在合計額  
134,197,798円

○小堀修一(上高根沢)  
100,000円  
亡父(勝造様)の遺志により寄付

○栃木県レーザーカラオケ協会  
119,787円  
第20回チャリティーカラオケ決勝大会時の益金を寄付

○高根沢町図書館  
76,939円  
図書館リサイクル市、入場者による募金を寄付

たかねざわ  
愛の基金  
(敬称略)



# 学校安全ボランティア スクールガード募集

町教育委員会では、平成21年度も、学校安全ボランティア（スクールガード）として、子どもたちの安全のために活動して下さる方を募集しています。

子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、ぜひ、皆さんのご協力をお願いします。

- ◆活動内容 小学校の登下校時、地域ぐるみで児童を守るためのパトロールなどをします。
- ◆活動期間 4月から1年間（年度ごとに更新します）
- ◆募集期間 4月15日（水）まで

- ◆申込み・問合せ先  
町子どもみらい課  
☎675-6466



# 塩谷地区休日夜間子ども診療室 診療日程が変わりました

偶数月が「くろす」・奇数月が「しおや」

休日夜間子ども診療室  
(しおや)



休日夜間子ども診療室  
(くろす)

- ◆診療月 くろす病院 4. 6. 8. 10. 12. 2月  
しおや病院 5. 7. 9. 11. 1. 3月  
上記の日曜日・祝日・年末年始
- ◆診療時間 18時30分～21時30分
- ◆診療場所 黒須病院内（さくら市氏家2650）  
☎682-8811  
塩谷病院（旧塩谷総合病院）内  
（矢板市富田77）  
☎0287-44-1155
- ◆診療科目 小児科
- ◆お願い 診察する医師は、塩谷地区の協力医師ですので、小児科専門医だけではありません。診察する医師は1人ですので、急患などで診療できないことがあります。必ず電話でご確認のうえ受診してください。

# こくちばん

## 町のうごき

平成21年3月1日現在

		前月比
世帯数	11,166 世帯	-20
人口	30,757 人	-44
(内)男	15,935 人	-26
女	14,822 人	-18

受診しようか迷った時には、

## 「とちぎ子ども救急電話相談」

- ◆相談時間 毎日 19時～23時  
☎600-0099

# 統計調査員等募集

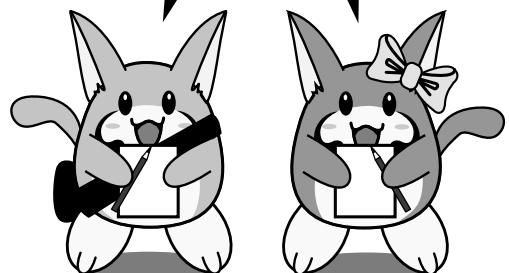
町では、国勢調査や農林業センサスなど各種統計調査等に従事していただける方を募集します。

ご応募いただいた方は町の統計調査員等候補者として登録され、統計調査等の実施時に、調査員の仕事に従事していただくことになります。

（報酬は1つの統計調査につき3～5万円が平均です）

統計調査等の仕事に興味をおもちの方は、町秘書広報課までご連絡ください。  
☎675-8102

# あなたも登録しませんか？



# 保険年金コーナー

国民年金からのお知らせ

## 老齢基礎年金を受けるには

老齢基礎年金を受けるには、次の期間を合算して25年以上が必要です。ただし、加入していても保険料を納めていなかった期間は除かれます。

- ① 国民年金の保険料を納めた期間
- ② 免除、学生納付特例などの納付猶予を受けた期間（一部納付の承認を受けた期間は、一部納付保険料を納めた期間であること）
- ③ 昭和36年4月以後の厚生年金保険の被保険者および共済組合の組合員であった期間
- ④ 第3号被保険者期間

老齢基礎年金は、保険料納付済期間が40年あつてはじめて満額支給されます。（昭和16年4月2日以後の誕生日の方は加入可能年数が40年になります）

## 繰り上げ請求とは

老齢基礎年金は、原則として65歳から受けることができますが、希望すれば60歳から65歳になるまでの間でも繰り上げて受けることができます。

しかし、繰り上げ支給の請求をした時点（月単位）に応じて年金が減額され、その減額率は一生変わりません。

## 繰り下げ請求とは

得する



## — キリンビール(株)栃木工場30th anniversary — 「栃木工場のある風景」と「おいしさを笑顔に」のテーマで 「あなたの一枚フォトコンテスト」開催

キリンビール株式会社栃木工場では、操業30周年を記念して、「あなたの一枚フォトコンテスト」を開催します。

### ◆テーマ

#### (1) 「栃木工場のある風景」

キリンビール栃木工場が映っていれば、どんなアングルでも可。撮影時期は問いません。（注：工場内の撮影は不可）

#### (2) 「おいしさを笑顔に」

キリングループのスローガン「おいしさを笑顔に」の言葉を自由にイメージしたシーン。

※いずれも被写体に人物が含まれる場合は、本人（被写体）の了承を得た上で応募してください。

### ◆応募内容

(1) 大きさ：2Lサイズのみ

(2) 仕様：プリントでの応募

(3) 枚数：1人何点でも応募可（未発表の作品のみ）

(4) 方法：応募作品の裏側に作品名と氏名を記入し、応募先まで持参または郵送

### ◆応募資格

◆募集期限 5月29日（金）必着

### ◆審査方法

県内に在住の方  
応募作品はゲストホールに展示し、工場見学来場のお客様が審査し、好きな作品に投票します。

※入賞者には、賞品を進呈します。

### ◆審査結果

### ◆展示期間

### ◆その他

8月下旬（入賞者には直接通知します）  
6月15日（月）～8月22日（土）の工場開館日  
応募作品は返却いたしません。また、応募作品は、作品名・氏名を記載して展示しますので、ご了承ください。

### ◆申込み・問合せ先

〒329-1207 高根沢町大字花岡147

キリンビール(株) 栃木工場 総務担当「写真」係

☎676-7111

## 自然を守り隊通信

### ◆「ごみの出し方」

「資源・ごみ収集のお知らせ」ができました

平成21年度版「ごみの出し方（町一般廃棄物処理）」

希望すれば66歳以降から、繰り下げて老齢基礎年金を受けることができます。繰り下げ支給の請求をした時点(月単位)に応じて年金が増額され、その増額は一生変わりません。

◆問合せ先

町住民課 総合窓口担当  
宇都宮東社会保険事務所  
☎67518100  
☎68313216

## 元気あっぷむら「さくら祭り」開催

元気あっぷむらでは、今年も「さくら祭り」を開催します。

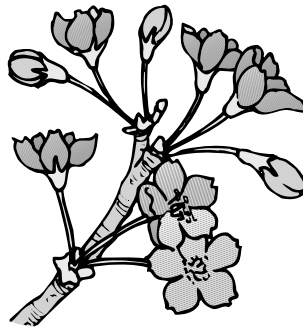
敷地内にある約200本のさくらを眺めながら、「春の喜びと自然の豊かさ」を満喫してください。

皆さまのお越しをお待ちしています。

◆日時 4月11日(土)・12日(日)  
10時30分～16時

◆内容

- 手打ちそば実演販売(1日400食限定)
- たこやき・大判焼き・やきそば  
やきとり・ギョーザ販売
- ヨーヨー釣りなどの楽しいゲーム
- フリーマーケット(11日のみ、11時～16時)



◆その他

- ①さくらのライトアップを行っています。  
4月15日(水)までの18時から21時30分
- ②高根沢町春めぐりバスツアーを実施します。  
4月6日(月)～9日(木)、4月13日(月)の5日間、町内のさくらの名所およびキリンビール栃木工場の見学など約3時間のミニツアーを実施します。参加費は、昼食と温泉入浴券がついて1人2,000円です。詳しくはお問合せください。

◆問合せ先 元気あっぷむら ☎676-1126



計画」と「資源・ごみ収集のお知らせ(地区ごとの収集日一覧表)」ができました。

3月に各地区の町保健委員やアパート・マンションなどの管理者を通じて各戸に配布しましたが、お手元に届いていない場合は町環境課、または町住民課総合窓口へお越しください。

ごみの収集日一覧や資源・ごみに関する情報は町ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

### ◆資源ごみ回収報償金制度のお知らせ

育成会や子ども会などで資源物の回収を予定していませんか?町では、資源ごみを回収し、売却した団体に対し、報償金を交付しています。

【報償金の額】

古紙	3円/kg
ビールびん・一升びん	5円/本
その他の資源ごみ(アルミ缶など)	売上金(税抜き)の30%

なお、報償金の交付を受けるには、団体登録手続きが必要になりますので、あらかじめ町環境課に申請してください。

### ◆犬の「ふん」の困りごと

犬のふんの後始末は、飼い主の責任です。犬を飼っている方は、ふんの後始末をきちんと行ってルールを守っているはずですが、しかし、中には犬のふんをそのまま放置している方がいます。

散歩をする道路や公園は、みんなで使う場所です。みんなが快適で衛生的に利用できるように、犬の散歩にはリード(引き綱)をつけ、ふんの回収用具を持ち、犬のふんは必ず後始末をしましょう。

ペットと楽しく暮らすためにも、近所や周囲の方の迷惑とならないように、マナーを守りましょう。

◆問合せ先 町環境課 ☎67518109

## 町消防団に 消防庁長官賞

2月25日、日本消防会館で開催された平成20年度消防団等地域活動表彰式において、町消防団が消防庁長官表彰を受賞しました。

この表彰は、町消防団が、消防団OBからなる消防支援隊を発足し、日中の災害発生時の出動団員を確保して、町の防災力向上に努めていることが認められたものです。

3月1日には、町役場前庭駐車場に団員が集合し、消防庁長官表彰状の伝達式が行われ、高橋克法町長から磯孝男団長に表彰状が渡されました。また、伝達式の終了後には、小林徳行元消防団長の叙勲受章を記念して創設された「まとい会長賞」の披露式が行われました。



## 認知症 サポーター講座

町では、認知症について正しく理解してもらい、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者「認知症サポーター」の養成講座を開催しています。

3月5日には、シルバー人材センターの会員52人、3月13日には足利銀行宝積寺支店の行員15人が受講し、サポーターの証であるオレンジリングを受け取りました。

受講した方は、「対応のしかたが勉強になりました」、「認知症の症状がわかりました」と話していました。今後も地域の団体や企業へ講師を派遣していきます。講座を希望する団体は、町健康福祉課（☎67518105）へご連絡ください。



## 町へ車椅子を寄贈

社会福祉に役立ててもらおうと、社団法人氏家法入会と同法人会高根沢地区会（菅又佳郎会長）は、車椅子3台を町へ寄贈しました。

3月12日、高根沢地区会の齋藤友紀雄副会長が町役場を訪れ、高橋克法町長へ目録を手渡しました。

氏家法人会では、社会貢献活動の一環として、栃木法入会会員で福祉用品販売などを

行う企業の協力のもと車椅子21台を購入し、エリア内の市へ4台、町へ3台それぞれ寄贈しました。

寄贈を受けた車椅子は、町社会福祉協議会において、介護保険対象外の方や介護保険対象であっても福祉用具貸与が受けられない方のため、また小中学生の福祉体験学習などのために有効に活用させていただきます。

## 656人が巣立つ

町内小中学校で卒業式が行われ（中学校3月7日、小学校3月19日）、656人の児童生徒が学びやを巣立ち、新たな一歩を踏み出しました。

北小学校では、卒業する30人の児童一人ひとりに渡邊幸雄校長から卒業証書が手渡されました。

式辞で渡邊校長は、卒業生たちに「卒業おめでとう。卒業証書を手にした皆さんの目は喜びと期待に輝いています」と話すと、「今日は新たな人生の門出の日。夢と希望をもつて、ますます活躍することを

期待しています」と激励の言葉を贈りました。

最後に、卒業生一同は在校生や教職員に別れの言葉を述べ、式場を後にしました。

なお、各小中学校の卒業生は次のとおりです。

阿久津小	100人
中央小	38人
東小	41人
上高根沢小	16人
北小	30人
西小	84人
阿久津中	249人
北高根沢中	98人



阿久津中卒業式



北小卒業式



# 地域情報局

## 桑窪の梵天祭

3月8日、桑窪地区一同が心一つにして、五穀豊穡、子孫繁栄を祈願した梵天祭が、今年も多く皆さまの参加によって盛大に開催することができました。大変ありがとうございました。

梵天祭によってお互いに新しい信頼が生まれ、地域活性化の原点となっていると言っても過言ではないと思います。

ちなみに梵天というのは、女性のおかめ梵天を男性の梵天が奪い合う、大変強烈な恋物語です。2年前には、お



げさまで縁組が整い、子ども梵天が誕生しました。将来の成長が楽しみです。

今は、大変な経済不況の時代を迎えておりますが、梵天はそのうつぶんを晴らすかのように元気に拝殿に突進し、見ている人にも元気を与えます。

祭りも歴史の積み重ねによって、今では桑窪の宝、「シンボル」であると同時に、町文化財として欠かすことのできない貴重な財産です。大切に後世に伝えられていくことを願っています。

祭りは、明治45年に豊作祈願のため始まりました。戦争により一時中止しましたが、戦後ただちに復活し、最近毎年賑わいを増しています。

その背景として、地域に密着し、さまざまなアイデアを出し合い展開してきたからこそ、すばらしい結果が現れたのだと思います。

そして、これからも皆さんの期待に応える祭りであり続けてほしいと思います。

情報提供者 氏子総代表  
坂本好久さん（桑窪）

## 塩谷都市医師会リーコラム 養生のススメ

### 第23回 「不眠症は万病の元!？」

氏家病院院長  
松村 茂（さくら市）

皆さんも今までに寝ようとしても眠れないといった経験をしたことがあると思います。子どもの頃に遠足前にはなかなか寝つけなかったこと、試験前日の緊張から眠れなかったことなどありませんでしたか？でも、通常は一時的なものでも病気でありません。しかし、不眠状態が長期間持続して日中の眠気やだるさ、集中力・注意力・意欲低下など様々な不調が現れ、日常生活に支障が出てしまうと「不眠症」という病気にして考えます。

よく経験することです。生活習慣病の「糖尿病」「高血圧」「不眠」は、深い関わりがあることが最近わかってきました。不眠によるストレスが体内のホルモンに影響して血糖値や血圧を上げ、糖尿病や高血圧を悪化させます。不眠のある人はない人に比べて将来、糖尿病や高血圧になる確率が3〜5倍高くなるという結果が出ています。

このように、不眠症はこころや体の病気の両方にも大きく関わっている侮れない病気です。しかし、不眠症であることを悩みすぎるのもマイナスです。不眠は不治の病ではないということを確認してください。

対処法の一つとして、朝日を浴びて体内時計を健全に調整する方法があります。逆に、してはいけないことの一つには寝酒があります。



深い睡眠はとれず浅くなり逆効果となるので避けてください。

睡眠薬に関しては「癖になる」「副作用が怖い」などマイナスイメージのある方が多いようですが、最近の睡眠薬は不安・緊張・興奮をやわらげ自然な眠りを誘うもので、医師の指示どおりに服用していれば安心して使えます。

不眠が続く場合は、ひとりで悩まずかかりつけ医に相談するか、専門医を受診してください。

※ご意見、ご質問、取り上げて欲しい病気などがありましたらT329-1312 さくら市桜野1319-3 さくら市氏家保健センター内 塩谷都市医師会「養生のススメ」係りまでお便りをお寄せください。



～歴史と伝統・神秘的な国 経済発展大国の中国へ～

## とちぎ未来へのパスポート2009

「新しい自分に会いに行こう！」がこの事業のキャッチフレーズです。

「自分の新しい可能性を見つけたい」「地域の一人として何か行動を起こしたい」「栃木県と友好提携を結ぶ浙江省の人々と交流してみたい」そんな想いを抱いている方、ぜひこの事業に参加してみませんか！

### ◆研修日程（予定）

開講式・前期研修①	8月1日(土)・2日(日)
前期研修②	9月5日(土)
前期研修③	10月3日(土)
海外研修	10月28日(水)～11月2日(月)
後期研修	12月5日(土)
研修成果発表会	2月13日(土)

### ◆海外研修先

中華人民共和国（上海市・浙江省方面）

### ◆募集人数 30人

### ◆資格 県内在住で、4月1日現在、次に該当する方

・青年リーダー（男女）：18歳以上36歳未満  
（全日制高校生を除く、県外学生含む）

・女性リーダー：36歳以上55歳未満

### ◆参加費 118,000円

### ◆募集期間 4月6日（月）～6月1日（月）

### ◆申込み・問合せ先

町生涯学習課 ☎675-3175

一度しかない成人式を自分たちの手で創ってみませんか

## 平成22年成人式実行委員を募集します

新成人の皆さんで、オリジナルの成人式を創ってみませんか。第1回目のミーティングにぜひ参加してください。元気いっぱい、アイデアいっぱいの新成人の皆さん、お待ちしております。

平成21年成人式実行委員の皆さん



### ☆成人式実行委員会第1回ミーティング

◆日 に ち 6月頃（詳細は通知します）

◆場 所 改善センター

◆対 象 者 平成元年4月2日から  
平成22年4月1日までに生まれた方

### ◆申込み・問合せ先

町生涯学習課 ☎675-3175

## 土屋はかせ塾のお知らせ

### おもしろ実験がいっぱい！ 不思議と遊ぼう！

「土屋はかせ塾」は随時塾生を募集しています。  
開催日に直接教室にお越しください。



◆対 象 子どもから大人まで、興味のある方ならどなたでも。（小学校高学年以上なら1人でも出来る実験をします）

◆参加費 無 料

◆主 催 町教育委員会

◆問合せ先 町生涯学習課 ☎675-3175

### ◆土屋はかせ塾 第1学期スケジュール

開催時間は、各回とも10時～12時

回	日にち	曜日	活動テーマ（場所）
1	4月18日	土	スライムとスーパーボールを作ろう！（図書館仁井田分館）
2	5月16日		ビー玉ごろりと豚もおだてりや木に登る（宝積寺タウンセンター）
3	6月20日		不思議なコップ?? （図書館仁井田分館）
4	7月4日		色の不思議 黒は黒? （図書館仁井田分館）
5	8月5日	水	2009年宇宙の旅（※） （郡山スペースパーク：バスで行きます）
6	9月26日	土	泥水がキレイな水に大変身 （図書館仁井田分館）

※「宇宙の旅」の詳細は、6月頃にポスターなどでお知らせします。

## 人権教育コーナー

## ～お互いに尊重し合うまちづくり～

### 「春のあいさつ週間」のお知らせ

お互いの人権尊重は、まずは「あいさつ」から

小中学校を中心として、全町一斉に「春のあいさつ週間」を実施します。  
家庭や近所で「おはよう」「ありがとう」と声を交わしましょう。

- ◆実施期間 4月8日(水)～10日(金)
- ◆実施時間 7時30分～8時を目安とし、各地域の登校時間に合わせて実施。  
(例：7時20分～7時40分)
- ◆問合せ先 町生涯学習課 ☎675-3175



昨年12月の実施状況

### 昨年度の取り組みのお知らせ

平成20年度は、阿久津中学校区(阿久津中学校、阿久津小学校、中央小学校、西小学校)が、文部科学省から人権教育総合推進地域に指定されたことを受け、以下のような人権教育事業を行ってきました。

#### ○講演会「夢をかなえるために」 【中央小学校】

・講師：具志堅 用高 氏 (ボクシング元世界王者)

**頑張りを褒めて 認めて 互いに育ちましょう**

◆開催日 平成20年9月17日

「世界王者になれたのは、日々努力していたことが周りの人に認められたからです。頑張りを認められて人は育ちます。」



#### ○オペレッタ「いのちのバトン」 【町民ホール】

**いのちは大切なもの だからあなたは大切な人**

◆実施日 平成20年9月21日

表現力豊かな演技と歌声のつたオペレッタで、楽しみながら、いのちの大切さや生きることの意味を考えさせられました。



#### ○講演会「ハッピー子育て」 【町民ホール】

・講師：明橋 大二 氏 (心療内科 医師)

**子どものありのままを受け入れましょう**

◆開催日 平成20年10月18日

「子どものありのままを受け入れることが子どもの自尊心を育み、他人への思いやりや豊かな心を培います。」



#### ○人権コンサート 【阿久津小学校】

・講師：岡倉 ゆかり 氏 (音楽家)

**みんなの命は大切に かけがえのないもの**

◆開催日 平成20年12月11日

生きることをテーマにした「生きてこそ」などの歌を通して、命の大切さや、思いやりについて学びました。



## 平成21年度 町国際交流協会 会員募集

「出かける国際交流から、身近な国際交流へ」を合言葉に、心温かな国際交流を促進して相互理解と国際親善に貢献する町国際交流協会では、皆さんからの会費により、いろいろな事業を展開しています。この機会に、あなたも会員になって、自分流の国際交流をしませんか。



国際交流フェスティバルの様子

#### ◆主な事業内容

- ①「町国際交流協会」の広報誌の発行
- ②小・中学生の海外派遣による交流体験事業
- ③在町外国人に対する日本語教室
- ④国際交流フェスティバル など

#### ◆会費

会員の別		年会費(1口)
個人会員		2,000円
団体会員	非営利団体	4,000円
	企業	5,000円

※会員の受け付けは、随時行っています。

◆連絡先 高根沢町国際交流協会事務局  
(町生涯学習課) ☎675-3175

# 4.4 ▽ 5.16 ナゾの精神生活

休館日

月曜日  
4.19,29  
5.3~6

## 物語する古代遺物

'09春の  
企画展



顔面把手つきの  
縄文土器  
浄法寺遺跡

縄文時代から奈良平安時代にかけての土器や石器の中で、古代人の精神生活とかがわりが深いものを展示します。超自然的な現象への恐れや祈り、暮らしの中での様々な祭祀行為などにつながる各種遺物。どうぞご覧ください。

## 米俵の実物を展示

本屋・囲炉裏ばたに米俵の実物を新しく展示しています。塩谷町在住の農業・大島久さんが製作、当館へ寄贈いただいたものです。紙袋の時代になった今、藁仕事が姿を消しつつあり貴重な民



俗の実例です。併せて、正月のしめ飾り3本も寄贈、大きな「両締め」「生茅締め」で、それぞれ本屋いろり傍と農具館に展示しました。どうぞご覧ください。

## 高根沢の文化遺産

# 精米労力を代行

## 明治26年 3村に93 村の水車



街道傍の水車 雪の水車小屋、道傍の水車堀。道路奥に馬車がみえる。大正期で、北高根沢村地内とみられる。撮影 阿久津真

### 中郷に三軒集中

うらかな日差しの下、勢いよく走る水に押され水輪が廻る。板壁の水車小屋ののどかなたたずまい。そんな情景が戦後暫くまで高根沢の各地にあった。昭和23年発行の地図に載っている水車記号は五行川・井沼川などの一帯へカコミ図で合計20カ所もある。

五行川の旧河道は蛇行しながら流下する。その最も西寄り箇所が今の県道・北高根沢氏家線の中郷交差点付近で、旧杉山街道と合流するこの辺りは交通要所。ここには、田代佳夫家、加藤庸一家、加藤昌司家の三軒が水車経営をしていた。田代家の水車は上から水を落して水輪を廻すター

ピン式。当時は、田植繁忙期に炊飯の受託などを行う共同作業所も兼ねていた。三軒とも賃揚きだが、昌司家はうどん製造も行ったという。

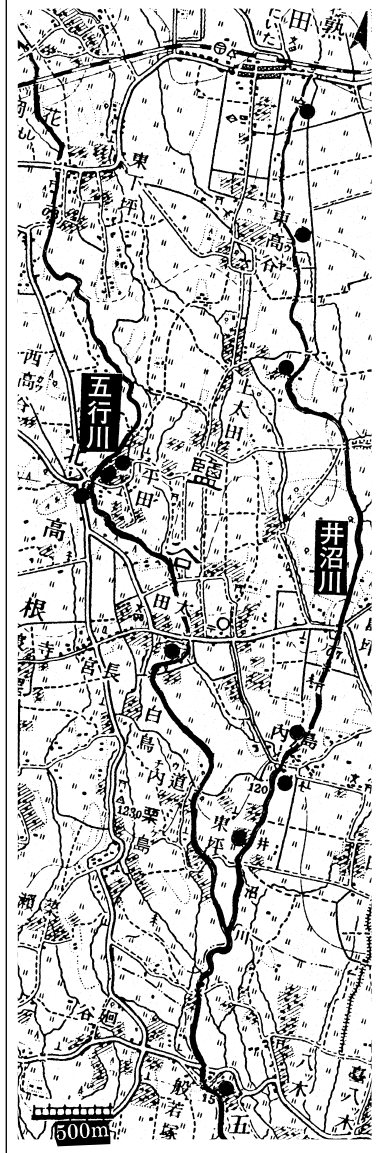
### 50年回った「バツチャン」

水流が動力となる水車は無公害エコロジーの機械。碾き白で脱穀や精米製粉などを自然に任せて行い、手作業を代行、時間と労働を節約することができた。

五行川が流れる一帯の五行川低地は鬼怒川の旧流路、現鬼怒川東岸の中阿久津の一帯などは古くからの「米どころ」だが、両地域とも数多くの水車がかわれてきた。

明治26年の記録によると、北高根沢村40・阿久津村27・熱田村26の計93基があったという。中でも昭和25年まで約50年も稼動した中阿久津「バツチャン水車」(野中祁家)は釜ヶ淵用水に掛けた老舗水車だった。終戦後、急速に電気動力が普及し、自家用の発動機が定着すると共に水車は使命を終え姿を消した。(文化財嘱託員 海老原郁雄)

## 北高根沢村の水車 (一部) 昭和23年



### 町歴史民俗資料館

☎675-7117

※休館日 月曜・第三日曜・祝日



## スポーツイベントサポーターを募集します!

町では、誰でも気軽にスポーツイベントに参画できる仕組みを作っていきたいと考えています。そこで「スポーツイベントサポーター」として、町内のスポーツイベントにかかわる運営のお手伝いをしていただける方を募集します。

スポーツイベントに興味のある方や運営に参加できる方など、たくさんの方の応募をお待ちしています。

- ◆応募資格 健康でスポーツを愛し、体力に自信のある方
- ◆主な活動
  - ・町民体育祭の競技役員
  - ・その他スポーツイベントの競技役員、審判
  - ・会場の設営や受け付けのお手伝い など
- ◆応募方法 町生涯学習課にある登録用紙に必要事項を記入し、担当まで提出してください。(随時募集しています)
- ◆問合せ先 町生涯学習課 スポーツグループ ☎675-3175



## 第29回議長杯ワンタッチバレーボール大会結果

2月22日(日) トレーニングセンター

優勝 花岡フレンズ  
準優勝 大谷バレーボールクラブ

## 平成20年度高根沢町長杯争奪卓球大会結果

2月28日(土) トレーニングセンター

- ◇男子シングルス
  - 優勝 三浦 拓 (本田技研)
  - 準優勝 石塚 雄一 (高卓ク)
  - 三位 佐藤 茂 (高卓ク)
- ◇女子シングルス
  - 優勝 小林 弥生 (清陵高)
  - 準優勝 手塚 麻美 (一般)
  - 三位 小林 愛 (阿中)
- ◇男子ダブルス
  - 優勝 吉田 友郁 (高根沢高)
  - 大田 武 (高根沢高)
  - 準優勝 佐藤 茂 (高卓ク)
  - 石塚 雄一 (高卓ク)
  - 三位 西海 秀 (一般)
  - 三浦 拓 (本田技研)
- ◇女子ダブルス
  - 優勝 赤塚 はるみ (一般)
  - 小林 弥生 (清陵高)
  - 準優勝 村上 ゆかり (高根沢高)
  - 平山 真奈美 (高根沢高)
  - 三位 手塚 麻美 (一般)
  - 手塚 愛美 (一般)

## 文芸コーナー

### 短歌

同病を憐れみ合いて順を待てば  
ロビー明るく春の陽溢れる  
早春の清しき空気におのづから  
足音弾ませ歩き続ける  
最後かと思いいたりし山茶花の  
葉陰にひそと花いまだあり  
日が暮れて石灯笼に灯の点り  
平穩無事を謝恩し夕餉す  
寸の間に飛行機雲は向きを変え  
茜に染まりて中空に消ゆ

金子 實 (宝積寺)  
水谷 兄子 (宝積寺)  
真求 義行 (宝積寺)  
齋藤 秀山 (宝積寺)  
鈴木 幸子 (宝積寺)

### 俳句

鬼怒の土手いきいき土筆競い合う  
どうだんに砂糖のやうな霜降り  
夕映えの落花でありぬやぶ椿  
我が町の沃土潤す春の水  
はん天をしっかりと着て風の道

水井 幹 (宝積寺)  
真求 義行 (宝積寺)  
齋藤 秀山 (宝積寺)  
金子 實 (宝積寺)  
内田 房子 (宝石台)

### 川柳

旬の味路の旨さに田舎味噌  
耳遠い母に留守居の用足りず  
良薬の苦さ気付いてから出世  
近所からちよろちよろ洩れてくる噂  
まだまだと思ふ冬場に梅だより

金子 實 (宝積寺)  
内田 房子 (宝石台)  
小林 八起 (上高根沢)  
横田 啓子 (宝積寺)  
松山 圭介 (桑窪)

文芸コーナーでは、皆さんからの投稿をお待ちしています。なお、作品が掲載される場合には、添削されることもありますが、あらかじめご了承ください。締め切りは毎月末です。町秘書広報課へご提出ください。

# 保健センターだより

No.294

☎675-4559

## 古くて新しい感染症

### 『麻しん(はしか)』

平成19年、大学生などを中心に麻しんが流行し、ニュースなどで大きく取り上げられたのは、記憶に新しいことと思います。

麻しんは、肺炎や中耳炎などの合併症が起こりやすく、時に脳炎を起し重症化すると死亡することもある深刻な病気です。

麻しんの予防法は、早めにワクチンを接種すること。現在、日本では1期～4期に分けて麻しん風しんの予防接種を実施しています。(左表参照)

期	対象年齢
1期	1歳～2歳の1年間
2期	小学校就学前の1年間 (年長児)
3期	中学校1年生に相当する者
4期	高校3年生に相当する者

※3期・4期は平成25年3月末終了

国では平成24年までに麻しん排除を目指していますが、そのためには95%以上の接種率が必要とされています。

しかし、平成20年12月31日現在の接種率は、まだまだ低く、県内でも接種率の高い本町でさえ、第2期で82%、第3期で83%、第4期で78%と、目標値に達していない状況です。

かつては子どものうちに麻しんに感染し、免疫が得られることが多かったのですが、予防接種の普及で、自然に感染する子どもの数は少なくなってきました。しかし一方で、予防接種を受けた後に、ウイルスに接する機会(免疫を強化させる機会)が減少し、接種後10年以上経った頃に免疫力の低下を招くこととなりました。

免疫力を高めるためには、**2回の接種が必要**です。

「麻しんは昔の病気」、「一度接種を受けているから大丈夫」と安心して、対象年齢を迎えたら、必ず接種を受けましょう。

現在、麻しん風しん(MR)の予防接種は公費にて実施しています。対象となる方(1期の方を除く)には個別通知にて案内をしています。案内が届いたら、早めに接種を受けてください。

### ◆問合せ先

町保健センター

☎675-4559

## 楽しい朝ごはんメニュー

### 新生活のスタートに朝ごはんを!

4月は、新しい生活を始める人も多いですね。自分を変わらなくても、家族の生活が変わる方もいるでしょう。新しい生活に、『朝ごはん』は欠かせません。

小学校・中学校などで朝ごはん調査をすると、約90%が「朝食を食べる」と答えます。しかし、高校生～50歳代では朝食を食べる人が少なく、約66%になってしまいます。

朝食にかける時間は、10分以下の方が全体の約40%です。(ネットリサーチ dimdrive調べ)

朝ごはんは必ず食べているが、とりあえず口に入れるだけの方も多いのではないのでしょうか?

ゆとりは、生活に潤いを与えます。ゆとりをもってバランスのとれた朝食を食べることは、キラキラ・ピカピカな新生活を送るために大切です。

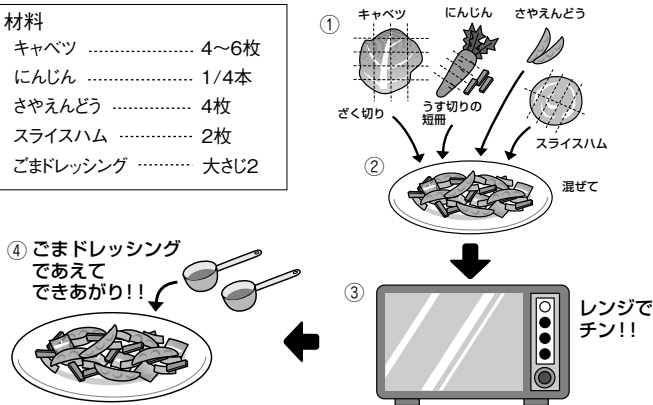
みんなで、キラキラ・ピカピカ生活を目指しましょう!

### 春キャベツとにんじんのごまドレッシング

(ひとり分 熱量 116 kcal たんぱく質 4.2g 塩分 1.0g)

#### 作り方

- 材料
- キャベツ ..... 4～6枚
  - にんじん ..... 1/4本
  - さやえんどう ..... 4枚
  - スライスハム ..... 2枚
  - ごまドレッシング ..... 大さじ2



おいしく食べよう、

楽しく食べよう、元氣な子

—顔が見えるって、おいしいね—

みなさんのご家庭のお薦めメニューを募集しています。

町保健センター(☎675-4559)までお知らせください。



— 第八十四想 —

また二町の宝物が見つかりました

三月二十二日、町民ホールにて「菅野祐悟スプリングコンサート」が開催されました。菅野祐悟？誰？と思われる方が多いと思います。菅野さんは高根沢町出身の作曲家です。ご実家は仁井田にあつて、ご両親は高齢者福祉の分野でご活躍をされています。また、「助け合い」や「絆」という地域を創る上で最も大切な考え方をいち早く提唱された私の尊敬する方でもあります。

彼の作曲した作品はたくさんあつて、すべてを書くところのページが終わってしまいますが、私が思うテレビドラマの代表作を挙げると次のようになります。

二〇〇四年「ラストクリスマス」(織田裕二主演)を最年少(二十七歳)で担当しました。

二〇〇五年「エンジン」「あいのうた」

二〇〇六年「アテンションプリーズ」

「サブリ」

二〇〇七年「明智光秀〜神に愛されなかつた男〜」

「サブリ」

「ホテルノヒカリ」

「ガリレオ」「SP(エスピー)」

二〇〇八年「イノセント・ラブ」「赤い糸」

二〇〇九年「キイナ〜不可能犯罪捜査官〜」

あーあのテレビドラマかと思ひ出していただけたかと思ひます。

コンサート当日に配られたパンフレットに菅野さんの文章が載っていました。「こんにちは！菅野祐悟です。僕はこの高根沢町で青春時代を過ごしました。そしてジャズや映画音楽にどっぷりはまり作曲家になることを夢見ていました。僕の音楽家への原点ともなつたこの町には知人、友人も多くたくさん思ひ出が詰まっています。(中略)僕を育ててくれたこの町の人々に恩返しの意味も込めて、(中略)精一杯の演奏を披露します。」

大勢のオーケストラを率いて、指揮だけでなく自らピアノを弾きながらのコンサートは素晴らしいものでした。そして、曲と曲の合間に訥々と語る菅野さんの言葉からは、ふるさと高根沢に対する言葉以上の思ひが伝わつてきたのでした。「国家の品格」の著者藤原正彦氏はこんな文章を書いています。「ノベル賞受賞者やそれに匹敵する人達の住んでいた街は皆、美しい町であり、優れた人材を生み出す為には美しい環境がなければならぬ」と。音楽界で大活躍されている菅野さんの才能を開花させたものが、たんたん田んぼの高根沢の豊かな田園風景や、朴訥だけれども情け深き町民の方々ととの絆であったとしたら、こんなにも嬉しく、また誇りに思えることはありません。

コンサート最後の曲の前に、菅野さんは

ご両親への感謝の言葉を述べられました。どんなに厳しい環境の中にあつても信念に生きる親の背中を子に見せ続け、祐悟さんの不遇の時代にもご子息を信じ支えてこられたご両親への感謝の言葉は、満席に近い聴衆の心に迫るものがありました。祐悟さんを支え、素晴らしい作品を生み続けるその源は、実はこの感謝の心の中にこそあるのかもしれない。「幸せとは、自分ならではの天分を生かし、それが他者の役に立ち、その結果、自らに誇りを持てるようになつた時に感じるもの」とは松下幸之助翁の残された言葉ですが、祐悟さんの姿を観ながら、この言葉は本当だと納得している自分だったのでした。

今回の企画は町民ホール自主事業運営委員会(尾田忠則委員長)のご努力によって実現しました。尾田委員長によれば「菅野さんの曲を高根沢町で聴きたい想ひに駆られ直接本人に電話し快諾をいただいた。しかも特別料金で。」とのことでした。菅野祐悟さん、自主事業運営委員会の皆さん、その他多くの皆様のお力に感謝申し上げます。おかげさまで、また一つ、町の宝物を見つけることができました。



メールアドレス

chouchou@town.takanezawa.tochigi.jp

「町ホームページ」に  
広告を載せませんか！



◆問合せ先  
町秘書広報課 広報公聴担当  
☎675-8102

Eメール kouhou@town.takanezawa.tochigi.jp

ジュニア ~18才学生	レディース 65才~	シニア 65才~	ジュニア応援料金
2時間200球 1,000円			レッスン1回(ボール代込) 小中学生:300円 高校生:500円
※閉店2時間前 まで毎日受付			※1回のレッスンで2時間 200球が2回無料。
高根沢ゴルフパーク お問合せ 028-675-2140 http://www.i-golfers.com い〜ゴルフアースどっとこむ			

# Happy Birthday

## はっぴーばーすでい

### (4月誕生編)

※満5歳までのアイドルを募集しています。ただし、お1人1回の掲載とさせていただきます。誕生日の3カ月前から受け付けます。町秘書広報課まで電話連絡ください。※お子様の敬称は「ちゃん」で統一させていただきます。



中阿久津  
見目文生♥実和子さんの子  
優真(ゆうま)ちゃん  
(平成20年4月7日生)



宝積寺  
野中弘之♥有美恵さんの子  
湧斗(ゆうと)ちゃん  
(平成16年4月5日生)



光陽台  
仁井章智♥香織さんの子  
朝陽(あさひ)ちゃん  
(平成20年4月12日生)



光陽台  
木村友春♥香さんの子  
桜子(さくらこ)ちゃん  
(平成20年4月20日生)



太田  
津久井雄三♥祐子さんの子  
理子(りこ)ちゃん  
(平成18年4月24日生)

花岡  
鈴木和寿♥恵さんの子  
大翔(たいし)ちゃん  
(平成18年4月26日生)

平田  
沢井拓己♥奈尾美さんの子  
颯太(そうた)ちゃん  
(平成17年4月6日生)

光陽台  
小島孝臣♥絵美さんの子  
美蘭(みらん)ちゃん  
(平成17年4月20日生)



カリビヌリさん、リユースさん、スマイルさん、エリザさん、今回の取材にご協力いただき、大変ありがとうございました。

彼ら4人の話を聞いていくなかで、私自身とても大切なことを教えていただいた。

夢や目標をもつこと。物事を前向きに考えること。感謝する心を忘れないこと。そして、常に笑顔絶やさないこと。

本来は、当たり前のようにみんながもっていて、すごく大切なものなのに、つい意識の外に放置してしまいがちになる。

それらは、私たちが生きていくうえで、また、幸せを実現していくうえで欠かすことのできない「力の源」だと思った。そして、その「力の源」は、周囲の人々にもすばらしい影響を与えていく。

スマイルさんは毎回別れ際、明るい声で「がんばってください」と私に言ってくれた。スマイルさんに言われると自然と力が湧いてくる感じがして不思議だった。

当たり前だけれど大切なもの。4月という新たな出発の時こそ、それらをもう一度意識の中に刻んで、毎日がんばりたい。そして、これからも、私たちの町のがんばる人たちの姿を追っていききたい。

(あき)